話題の会社 現場を知る

株式会社ミカタ

タイヤのバランス安定材を輸入・販売

【ミカタとは】

丹波篠山市にある物流資機材の輸出入商社「株式会社ミカタ」。2021年からはタイヤの中に入れるバランス安定材「チェッカーフラッグ」の輸入販売を開始した。代表を務める足立好徳氏は、2012年にミカタ商事として個人事業をスタートさせ、2019年5月に法人化。以降は「株式会社ミカタ」として、①現場の課題解決に繋がるもの、②海外では既に使用されているが日本ではまだ流通していないもの、という2つの観点から海外のユニーク商品を発掘し、国内の現場に紹介する事業を展開している。

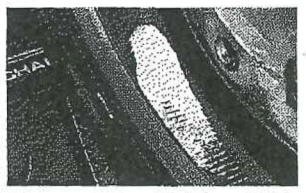
【バランス安定材】

日本では、まだ余り馴染みのないタイヤの"中に入れる"バランス安定材。70(ナナマル)以上の扁平率が高いタイヤに適しているので、必然的に大型車両がターゲットになるという。果たしてどのようなメリットがあるのだろうか。

足立代表

それは、タイヤの重量バランスを調整し真円で回転させることで、タイヤの余分な摩耗を減らし寿命を延ばすことだ。燃費改善も期待できるという。タイヤは真円に見えるが、実は箇所によって径も重さも異なる。バランスが取れていない物体を高速回転させると遠心力にバラつきが生じ、過度に遠心力が発生した箇所は激しく路面に打ち付けられ、それが余分な摩耗や偏摩耗の原因となる。

そこで、「チェッカーフラッグ」の出番だ。ビーズ状の安定材をタイヤに入れるだけで、タイヤが振動しているところ(=周辺よりも重いところ)から振動していないところ(=周辺よりも軽いところ)に安定材が移動して、タイヤのバランスが取れるメカニズム。ウエイトバランスのように重たいタイヤをバランサーに載せる重労働が不要で、タイヤの摩耗が進んでも再調整する必要はない。走行中に突然取れて落ちることもなく、いつでもずっとバランスを取り続ける働きモノだ。



チェッカーフラッグ使用時のタイヤ

チェッカーフラッグは、直径約2㎜のセラミックビーズで、多孔質硬質に焼成されている。アメリカのメーカーから、『何万キロ走っても、欠けたり割れたりしない』と説明を受けていたが、欧米と比べて、ストップ&ゴーの頻度が多い日本ではどうなのかと不安もあったと足立代表。

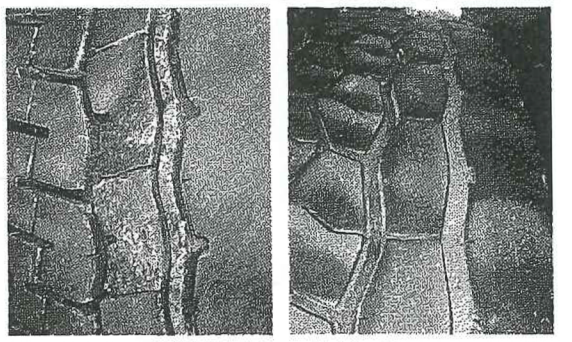
しかし、トライアルテスト後のチェッカーフラッグを見て、全く損傷していないことを確認し、その硬さに自信を持ったとのこと。もちろん、TPMS(空気圧センサー)を採用しているタイヤにも問題なく使え、誤作動を生じさせる心配もない。

チェッカーフラッグの現品。右側上ケースは半年使用後のもので、少し黒くなる程度だ

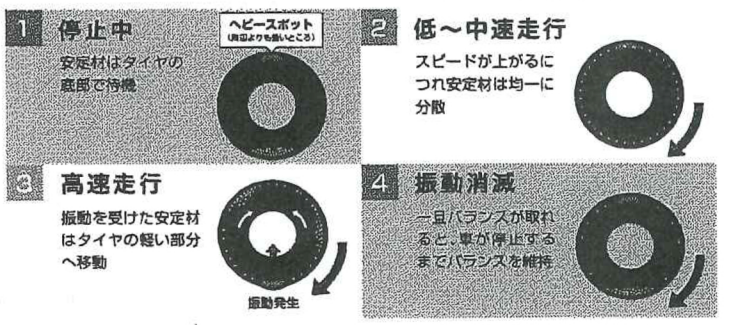
使用量は、タイヤサイズに応じて200、300、350、400gの4種。ちなみに295/70R 22・5には400gを使用。定価(税別)は、200g、300g、350g、400gがそれぞれ1800円、2400円、2800円、3200円。10kg箱(6万6000円)もある。

【利用者の声】

運送会社などで使われ始めた「チェッカーフラッグ」。あるモニターからは『意図的に偏摩耗しやすいタイヤを使って約5万キロ走らせたが、均等に摩耗している』と驚きの声が上がった。『欧米では既に実績がある商品ですが、日本でも実証事例が出始め、手応えを感じています』と足立代表。安定材を使用して約5ヵ月走行したタイヤを見てみると、確かに摩耗の仕方にはっきりと違いが見られる。



5ヵ月走行後のタイヤ。右は「チェッカーフラッグ」有り。左は同無し。有りのタイヤは摩耗の仕方が均等であることがわかる



加えて、安定材によってタイヤの回転が滑らかになるため、ハンドルの細かな振動が消え、ノイズも低下しているとのドライバー評もあるようだ。

デメリットは『ほとんどないですね』と足立代表は続ける。タイヤ交換時にビーズを取り出すことが手間くらいだが、家庭用掃除機を使えば、簡単に吸い取ることができる。

【今後の構想】

チェッカーフラッグの普及は『高速を使って長距離を走る大型トラックや大型バスから』と足立代表は見ている。タイヤの寿命が延びて、燃費が延び易いのは高速走行時というのが、その理由だ。

最後に『海洋マイクロプラスティクスの28%はタイヤ由来といわれておりタイヤの摩耗を減らすことは、SDGs対策にもなります』と足立代表は語ってくれた。「チェッカーフラッグ」が普及すれば、事業者の経済的メリットだけなく、環境対策にも繋がると期待を高めている。

株式会社ミカタ　概要

【商号】株式会社ミカタ Mikata Trading Co., Ltd.
【代表取締役】足立 好徳
【本社所在地】〒669-2204
兵庫県丹波篠山市杉83番地10
【資本金】980万円
【事業内容】物流資機材の輸出入販売
【設立】2019年5月7日
【創業】2012年10月25日
【主要取引先】もりや産業株式会社、梶原貿易株式会社他
【資格・免許】日本輸出入者標準コード登録済み
【加盟団体】(一社)日本バス協会・賛助会員、丹波篠山市商工会

Stron-G　ハイコストパフォーマンス TBホイール「Stron-G(ストロンジー)」
シルバーペイント
クロムメッキ
アルミホイール
新サイズ続々展開中!
カタログサイト http://kobs-wheel.com
㈱小林タイヤ商会　〒412-0002 静岡県富士市依田橋769
TBホイール/卸/販売 資料請求(カタログ・価格表) TEL 0545-33-0891
URL:http://www.kobs.co.jp

ふるさとに生きる、ふるさとを創る!

ふるさとが元気になる「地域絶品づくり」のすすめ

農業、漁業などが産業の中心で、行き詰りに陥っている地方にいま生活している人達が自らの力で、地元に眠っている魅力ある商品"ふるさと絶品"を発掘し、商品化するための最新プログラムを、マーケティングコンサルタントの二人が具体的成功例を紹介しながら丁寧に初公開!こうした絶品づくりが人も絶品にしていく!

◇国立小樽商科大学特設教授(マーケティング)
吉川京二/佐竹嘉廣 共著
◇フードコンサルタント

定価1620円(税込)　四六判164頁

[絶品づくりの構成(目次)]
第1章　地域絶品づくりとは
第2章　ふるさとが元気になる5つの基本原則
第3章　食の絶品づくりの開発ステップ
第4章　絶品づくりの3か年計画
第5章　具体的事例

木本書店
東京都港区新橋 5-14-3　電話 03-6402-7708　http//www.kimotoshoten.co.jp